



三井化学
グループ

事業活動を通じて社会課題の解決を目指す
新たな顧客価値の創造

証券コード
4183

2019年6月13日
三井化学株式会社
代表取締役 副社長執行役員 (CFO)
久保 雅晴

本日本話しさせて頂く内容

1. 三井化学とは
2. 18年度業績、及び19年度業績予想
3. 2025長期経営計画 ～持続的な成長に向けて～
4. ESG(環境・社会・ガバナンス)の取り組み



1. 三井化学とは

経営ビジョン

企業グループ理念

地球環境との調和の中で、材料・物質の革新と創出を通して高品質の製品とサービスを顧客に提供し、もって広く社会に貢献する。

目指すべき企業グループ像

絶えず革新による成長を追求し
グローバルに存在感のある化学企業グループ



代表取締役社長

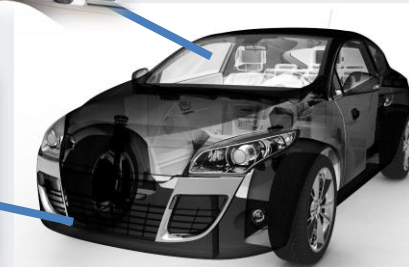
淡輪 敏

- ▶ 創 立 1997年10月1日 (設立：1955年7月1日)
- ▶ 資本金 1,251億円
- ▶ 関係会社数 155社 (連結：116社、持分法適用：39社) (*)
- ▶ 連結従業員数 17,743(*)
- ▶ 発行株式数 204,454,615 株

*2019年3月末時点

モビリティ事業

自動車材料、電子情報材料等



27%

48%

連結売上高
14,829億円
(2018年度実績)

10%

13%

ヘルスケア事業

衛生材料用高機能不織布、
プラスチックメガネレンズ材料、歯科材料等



基盤素材事業

石油化学製品、基礎化学品、
ポリウレタン材料等

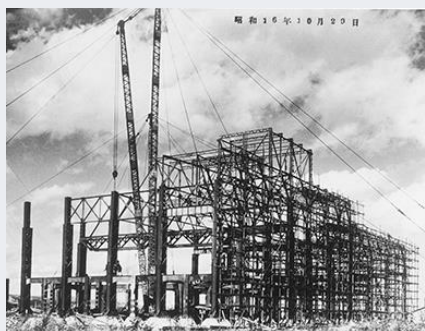
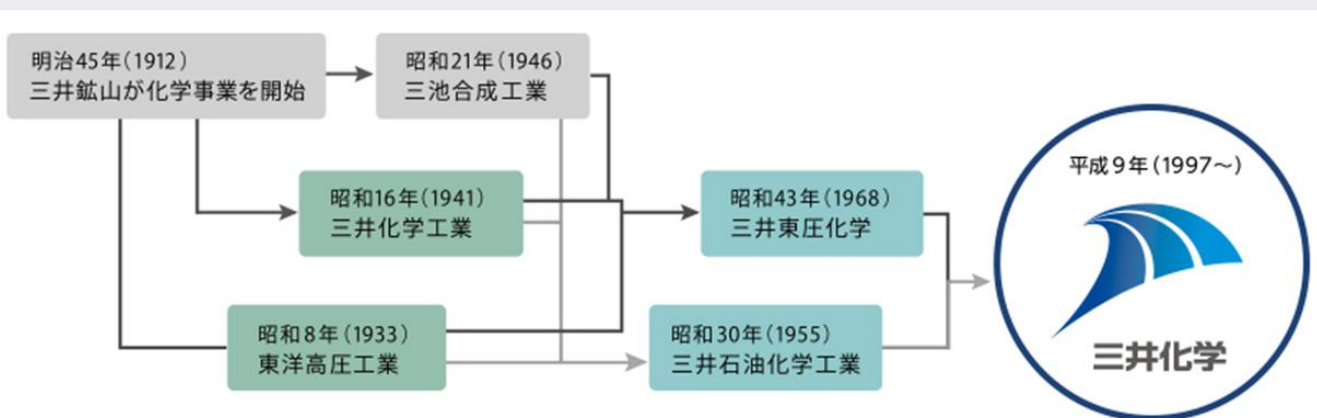


フード& パッケージング事業

食品包装材料、産業用フィルム・シート
農薬（殺虫剤、殺菌剤）、水稻種子等



歴史を受け継ぎながら、時代に合わせた発展を続けています。
 三井鉱山の石炭化学事業に端を発し、連綿と紡がれた歴史は100年以上。
 常に時代のニーズに応える製品を送り出しています。



昭和23年
世界初の尿素大量
 生産工場操業



昭和33年
国内初のエチレン
 プラント完成



昭和61年
 北米ポリプロピレン
 コンパウンド拠点設立

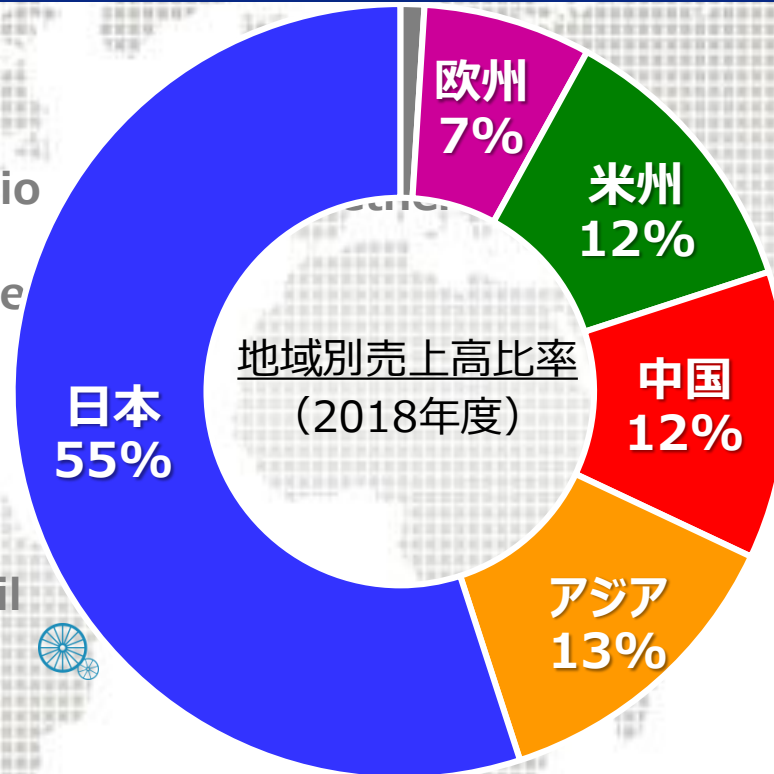


平成27年
国内初エチレン製造設
 備累計生産量2,000
 万トン達成

グローバルに存在感のある化学企業グループを目指して、積極的に海外展開を進めています。

海外売上高比率

1997年度：17%⇒**2018年度：45%**



Mexico

Ohio
Tennessee

Brazil

India

China

Japan

Thailand

 Production

 R&D



2. 18年度業績及び19年度業績予想

18年度は大阪工場火災等影響(▲50億円)、在庫評価損で減益
19年度は**過去最高益**を更新見込み

(単位：億円)

摘 要	FY2016	FY2017	FY2018	FY2019	比較
	Results	Results	Results	Outlook	FY18→FY19
売上高	12,123	13,285	14,829	15,400	571
営業利益	1,021	1,035	934	1,050	最高益 116
営業外損益	△ 49	67	96	50	△ 46
経常利益	972	1,102	1,030	1,100	70
特別損益	△ 114	△ 160	最高益 23	△ 50	△ 73
当期純利益*	648	716	761	760	△ 1

為替レート(円/\$)

108

111

111

110

△ 1

国産ワサ(円/KL)

34,700

41,900

49,400

46,000

△ 3,400

*「親会社株主に帰属する当期純利益」

(単位：億円)

セグメント	FY2016	FY2017	FY2018	FY2019	比較 FY18→FY19
	Results	Results	Results	Outlook	
モビリティ	407	423	427	445	18
ヘルスケア	101	108	136	155	19
フード&パッケージング	206	199	178	205	27
(ターゲット事業領域計)	714	730	741	805	64
基盤素材	385	389	278	330	52
その他 (全社共通費用含む)	△78	△84	△85	△85	0
合計	1,021	1,035	934	1,050	116

為替レート(円/\$)	108	111	111	110	△ 1
国産ナガサ(円/KL)	34,700	41,900	49,400	46,000	△ 3,400

- ✓ ターゲット事業領域での利益成長継続
- ✓ 基盤素材は大阪工場火災等影響(▲50億円)・在庫評価損も安定収益確保

FY19 Outlook

営業利益

1,050億円

売上高

15,400億円

ROS

6.8%

ROE

13.1%

ROIC*

6.4%

Net D/E

0.65

配当

中間50円/株、期末50円/株

* ROIC : 投下資本利益率=税引後営業利益/投下資本



成長拡大へ向けて投資強化

下振れリスク低減

収益安定化

成長軌道

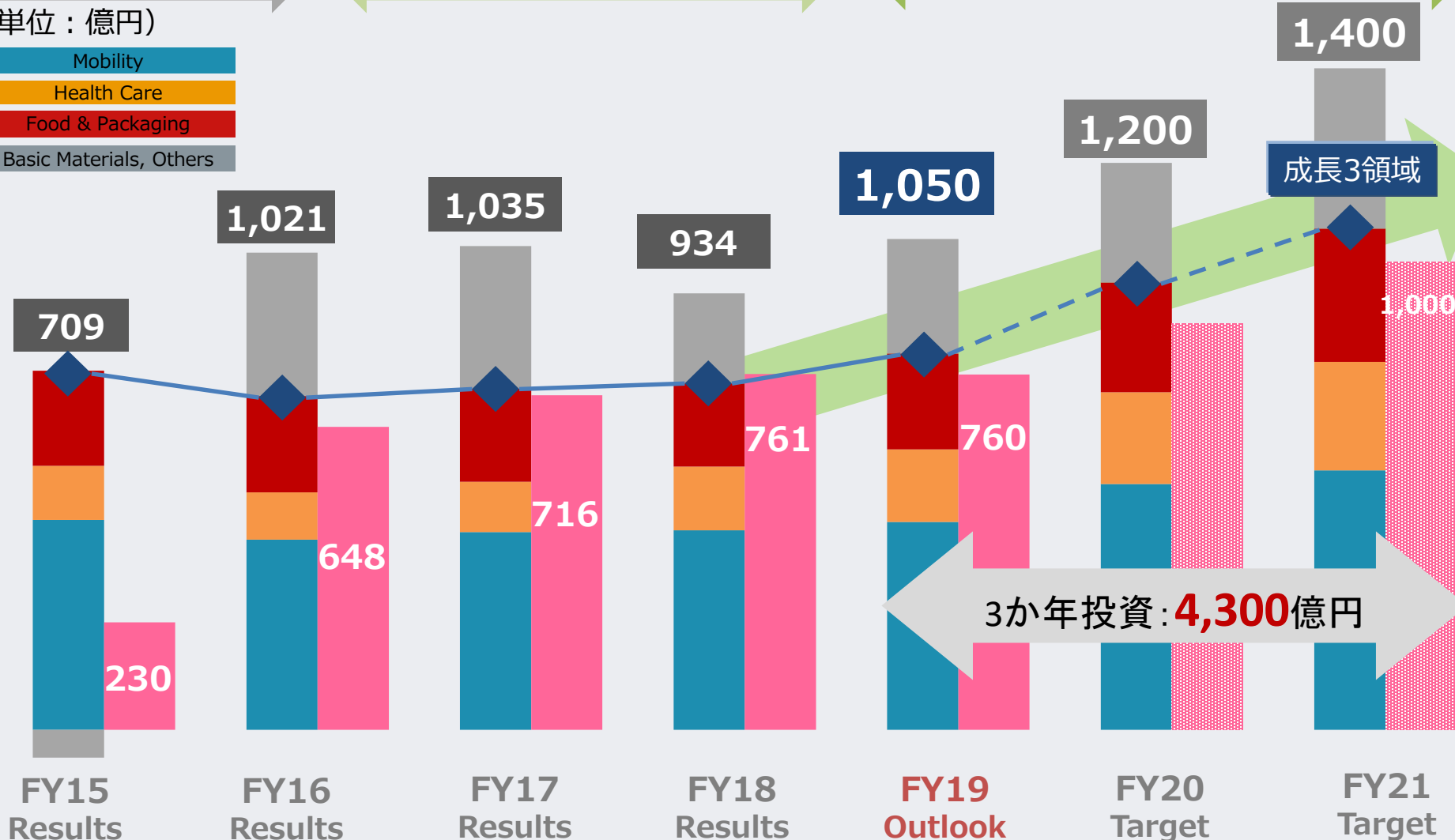
(単位：億円)

Mobility

Health Care

Food & Packaging

Basic Materials, Others





- ◆「素材」「部材」の**軽量化**により、「燃費向上」に貢献します。
- ◆**安全性、快適性、意匠性**といった多様化するニーズに、幅広い材料ラインナップと高い技術力で応えます。



世界No.2, アジアNo.1

PPコンパウンド



世界No.1

燃料タンク材「アドマー®」



世界No.3, アジアNo.2

内装表皮材「ミラストマー®」

三井化学グループの収益の中核として、
グローバル市場で成長を継続



ギア油添加剤「ルーカント®」



車載カメラレンズ「アペル®」

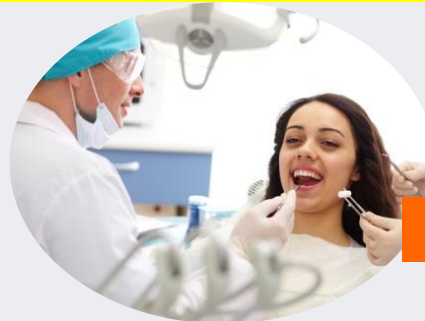
金属樹脂一体成型部材
「ポリメタック®」ガラス長繊維強化材料
「モストロン®-L」



～先進国の少子高齢化、新興国の経済成長に伴う「健康」への多様化するニーズ～
健康・長寿社会の実現に向けた**生活の質(QOL)の向上**に貢献します

世界No.1

プラスチックメガネレンズ材料



世界No.6

歯科治療用材料
接着性レジンセメント
「スーパーボンド®」

眼の健康や高齢化、多様化する
ニーズに応える新技術・新素材を
展開。

UrbanPola®

SunSensors®



NeoContrast

コア事業の強化拡大と周辺・川下
展開による新たな成長基盤を確立

アジアNo.1

(衛生材料用高機能不織布として)
衛生材料用高機能
不織布
「シンテックス®」

高品質化ニーズに応える
技術開発

「下着のような履き心地」
「肌にやさしい」「フィット感」
「なめらかさ」「ふんわり感」



これまでの技術では
両立できなかった
「柔らかさ」と「強さ」
の機能共存を実現

新製品



世界初の柔軟高強度
不織布「エアリファ®」



ワンタッチで遠近を瞬時に切り替えられる次世代アイウェア

老眼用メガネ市場ニーズ



TouchFocus™

心地よい視界



近視用メガネ+老眼鏡

- ✓メガネ2つ持つのは面倒
- ✓掛け替えるのも面倒

Innovation

利便性

遠近両用累進メガネ

- ✓視野が狭い
- ✓ゆれや歪みが気になる

TouchFocus™

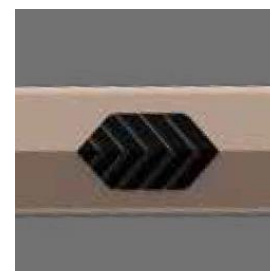
高性能タッチセンサー



小型軽量バッテリー



液晶レンズ(リーディングゾーン)



国際メガネ展(iOFT2017)にて発表
各方面から高い評価と反響

液晶レンズ技術で、電子的に焦点を制御し、
相反するニーズを1本で同時に解決

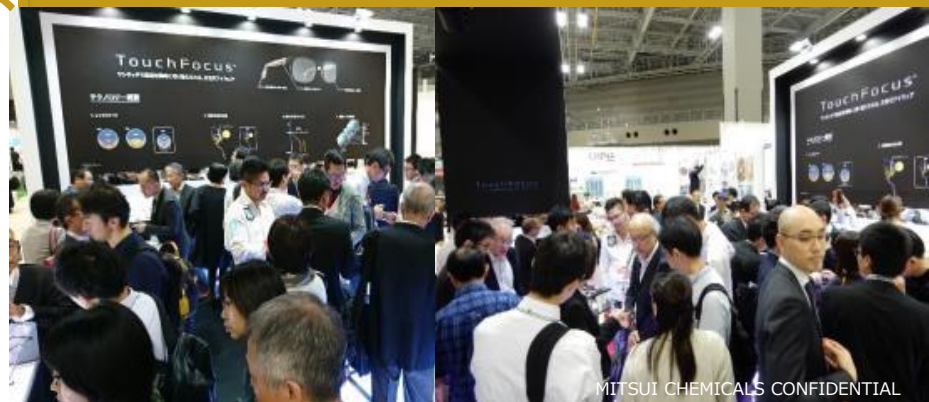
① 瞬時の遠近切り替え

② 広く、ゆれや歪みの少ない視界

販売店舗拡大中

日本国内
19年5月末

60店舗



MITSUI CHEMICALS CONFIDENTIAL

◇取扱い店舗◇ https://www.touchfocus.com/store_list/



成長を牽引する3つのターゲット事業領域：
フード&パッケージング事業

畑から、食卓まで。
 化学によるフード・ソリューション。



～世界の人口増加に伴う食糧問題を解決に向けて～

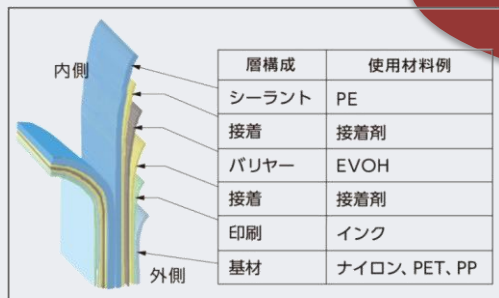
「フードロス・廃棄の削減」「食の安全」「食糧増産」の解決に貢献します

食品包装材



東南アジアNo1

接着材料「ケミパール®」、
 「タケネート®」、「タケラック®」



**異種材料の
 多層加工用接着材料**

産業用フィルム・シート

半導体製造工程用
 「イクロステープ™」



農薬

殺虫剤「スタークル®」、「トレボン®」
 殺菌剤「アフエット®」、「フルーツセイバー®」

水稻種子

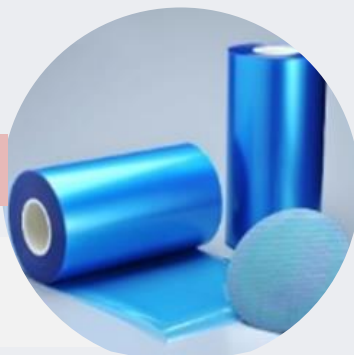


生産性1.5～2倍
 ハイブリッド米種子「みつひかり®」

**海外展開を含む新規事業領域の
 拡大を加速し、グループ全体の
 持続的成長へ**

シーラント「T.U.X®」

ボトルから軟包装へ包装形態変化
 (液漏れしない強靱性)





成長3領域の境界・外縁領域のソリューション事業を展開し、
次世代を担う事業を創出します。

■ エネルギーソリューション

発電事業、太陽光診断事業

- 愛知県田原市で国内最大級の太陽光と風力のハイブリッド型発電所を共同運営。
- 25年を超える太陽光発電部材の提供実績を活かし、太陽光発電に関する診断およびコンサルティング事業を開始。

「たはらソーラーウインド」（愛知県田原市）



■ メディカルソリューション

細菌迅速検査システム

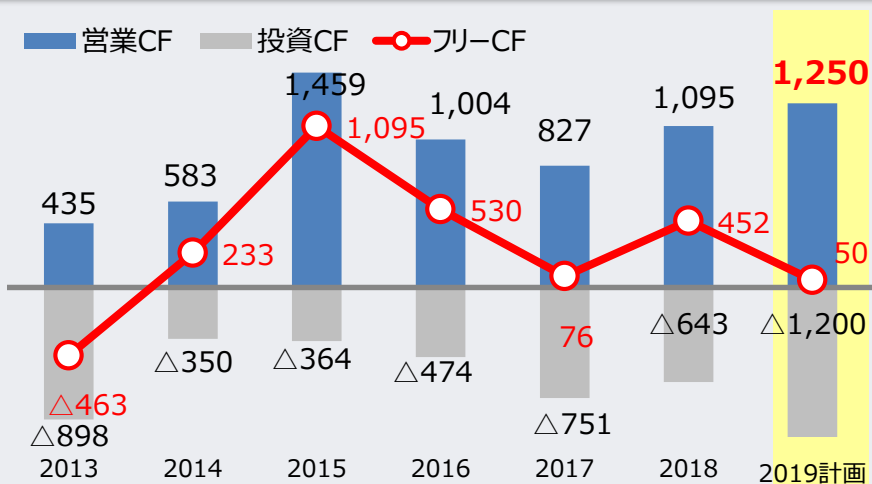
（敗血症起炎菌の同定）

重篤な全身感染症である「敗血症」の起炎菌を3～5時間で同定する検査キットの事業化に向けて、臨床試験を実施中。

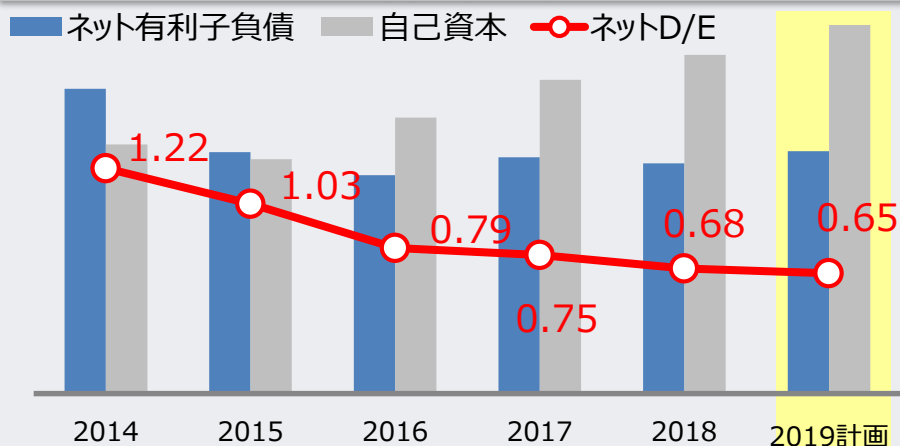


5年連続増配、今後も更なる配当増を目指す

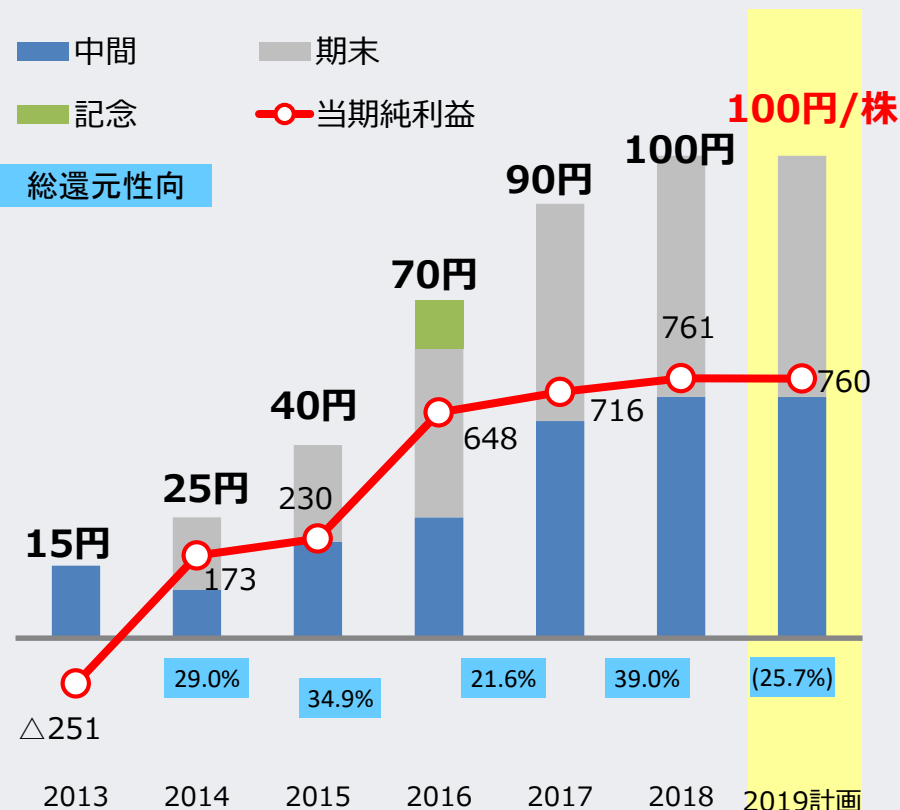
キャッシュフロー計画



財務状況



株主還元



2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019計画

*2017年10月1日付で普通株式5株を1株とする株式併合を行いましたので、過去分については株式併合後の株式数を基に修正しております。

総還元性向※30%以上を目指す

※総還元性向=(配当+自己株式取得)÷親会社株主に帰属する当期純利益



3. 2025長期経営計画

～持続的な成長に向けて～



3軸経営の深化

マルチステークホルダーへの配慮

長期的視点に立った経営

2025長期経営目標

営業利益

2,000億円

売上高

20,000億円

ROS (売上高営業利益率)

10%

ROE (自己資本利益率)

10%以上

Net D/E(有利子負債自己資本比率)

0.8以下

安定配当で、更なる増配を目指す

- ◆低炭素・循環型・自然共生社会の実現に貢献できる製品・サービスの最大化
- ◆QOL向上、スマート社会の実現に貢献できる製品・サービスの最大化
- ◆サプライチェーン全体を通じた安全確保・高品質・公正の追求

営業利益2,000億円に向けた経営資源の積極投入

成長投資

1兆円*

✓94%がターゲット事業領域

✓過去10年の約3倍の規模

✓財務規律を維持した積極投資

*基盤・維持投資は含まず

*2016～2025年度の10年間の総額

うち戦略投資

4,000億円*

*2016～2025年度の10年間の総額

研究開発費

(2025年度：700億円*)

2倍

*2016年度比

絶えず革新による成長を追求し、グローバルに存在感のある化学企業グループへ

再構築

抜本的な
事業再構築

回復

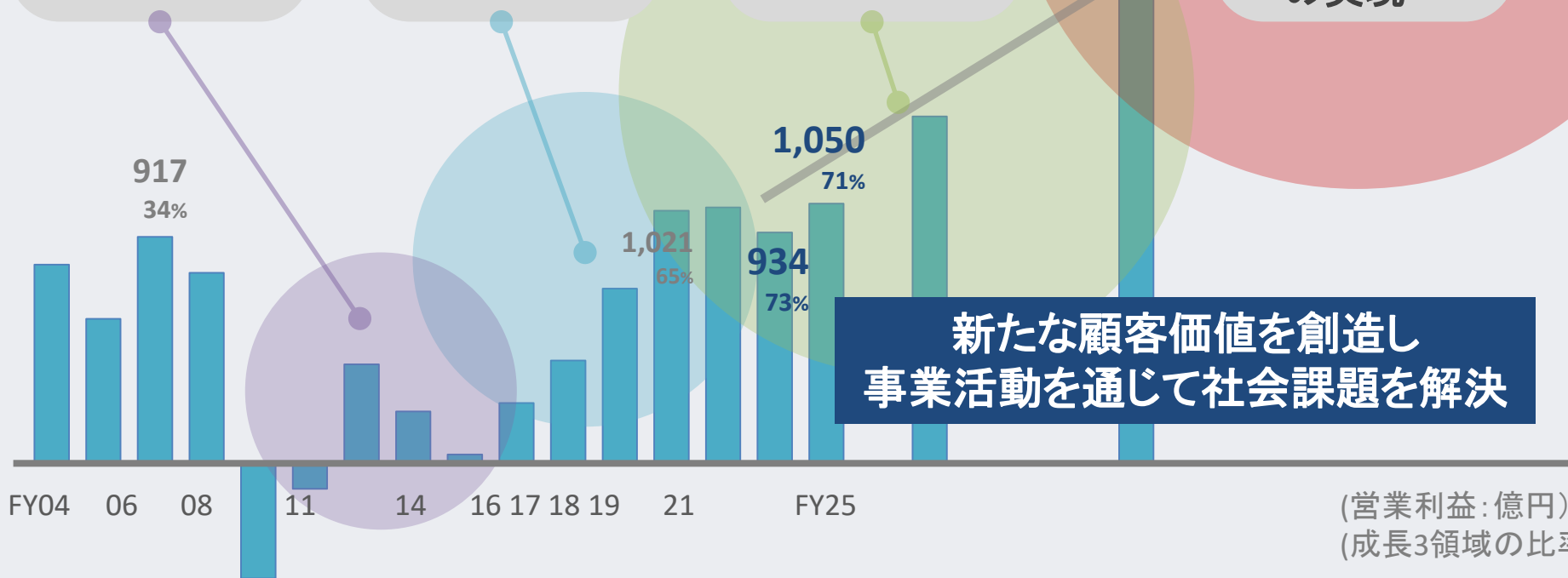
事業ポートフォリオ
の変革

成長

顧客起点型の
ビジネスモデル
への転換

飛躍

企業グループ
像
の実現へ





4.ESG(環境・社会・ガバナンス)の取り組み

プラスチック資源循環促進への貢献

- リサイクルを留意にする製品設計
- リサイクルされた材料の利用促進
- 資源や製品への再生技術の開発



海洋プラスチックごみ問題への対応

- 国内外業界団体、企業、政府と連携したグローバル規模での解決に向けた活動への参画

AEPWへの参加



グローバルなプラスチックのバリューチェーン企業が協働し、今後5年間で**約15億米ドル**をプラスチックごみ削減に投資する。

自分ゴト化

社内外での海洋プラスチック教育イベントの開催
やクリーンアップ活動の実施



オープンイベント
「みんなで海ごみ問題を
を考えよう」



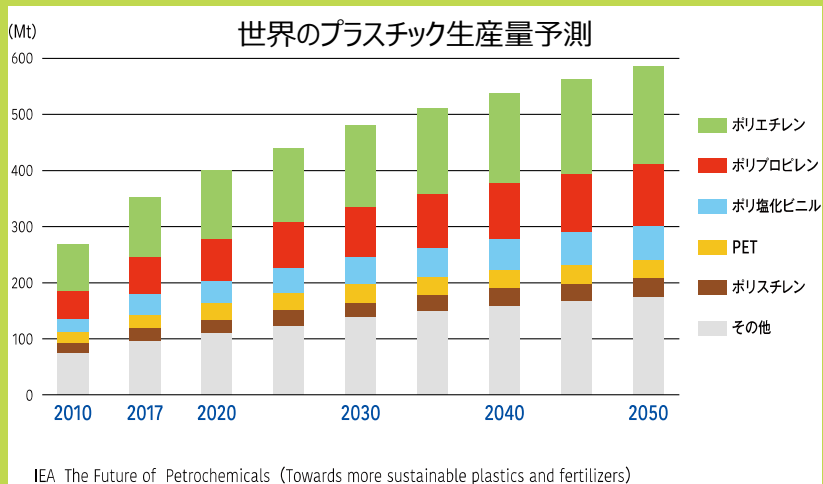
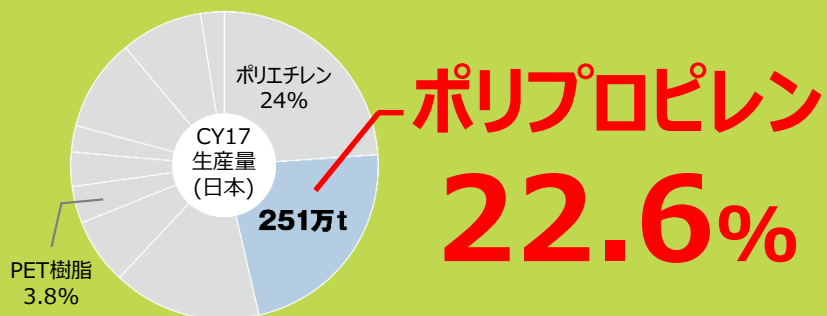
小笠原諸島での海洋ごみクリーンアップ活動



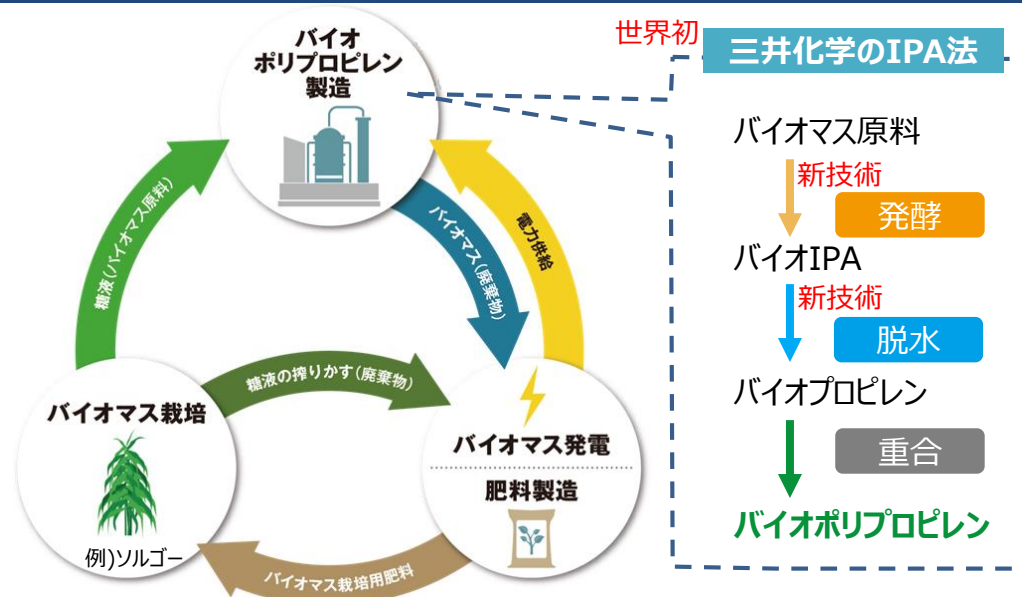
「私の一日とプラスチック」をテーマとしたワークショップの様子

国内最大のサプライヤーとしてバイオポリプロピレンの実用化を目指す

- ✓PPは日本のプラスチック生産量の23%
- ✓自動車部品、家電、医療、住宅、食品包装など幅広い用途で使用
- ✓世界需要は今後も大きく伸長



主要プラスチックの一つである
ポリプロピレンは未だバイオ化されていない



CO2排出量削減(試算)

プロピレン
1tあたり ▲4.2t

製造プロセス

世界初 IPA法


事業化時期

目標 2024

目標生産量

2030年 100KTA

環境省委託事業の公募に申請中

 低炭素・循環型・自然共生社会の実現に貢献できる製品・サービスの最大化

CO₂を
減らす

資源を
守る

自然と
共生する

提供価値の見える化

 QOL向上、スマート社会の実現に貢献できる製品・サービスの最大化

少子高齢化
への対応

健康寿命
の延長

食料問題
への対応

提供価値の見える化

環境影響指標

“Blue Value[®]”

ライフサイクルを通じて、環境貢献価値が他を上回る製品・サービスを認定

LCA*

独自の
評価指標
m-SI

用途別
評価

*ライフサイクルアセスメント

QOL向上評価指標

“Rose Value[™]”

あらゆる人の健康・安心な生活を向上させる製品・サービスを認定

SDGs

独自の
評価指標

用途別
評価

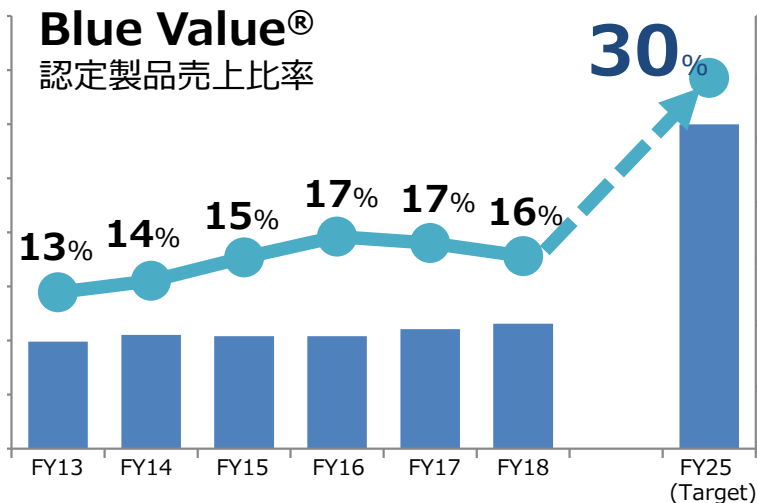
貢献価値をステークホルダーと共有し、目指す未来社会の実現へ

Blue Value[®]

CO₂を減らす

資源を守る

自然と共生する

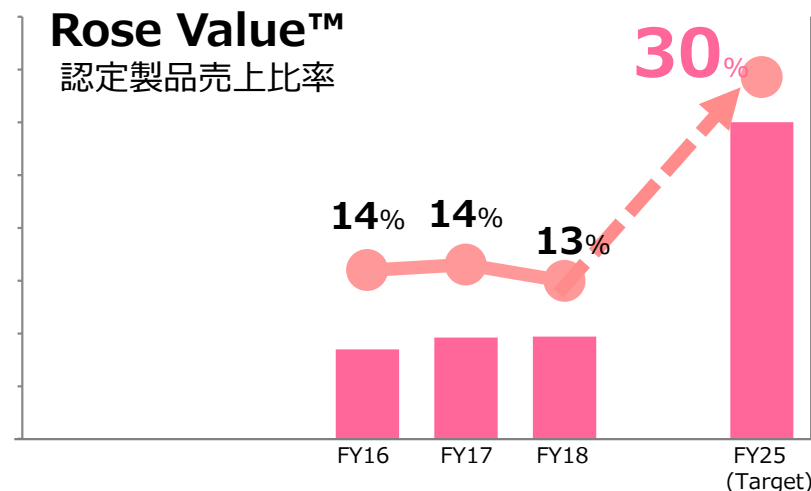


Rose Value[™]

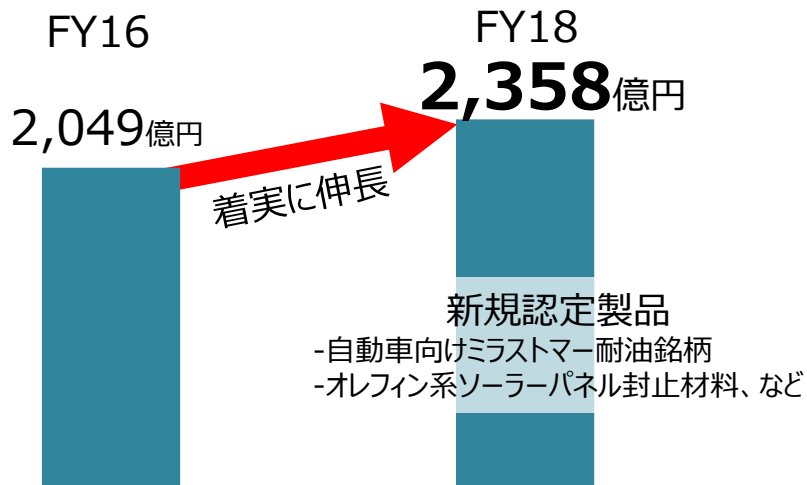
少子高齢化

健康寿命延長

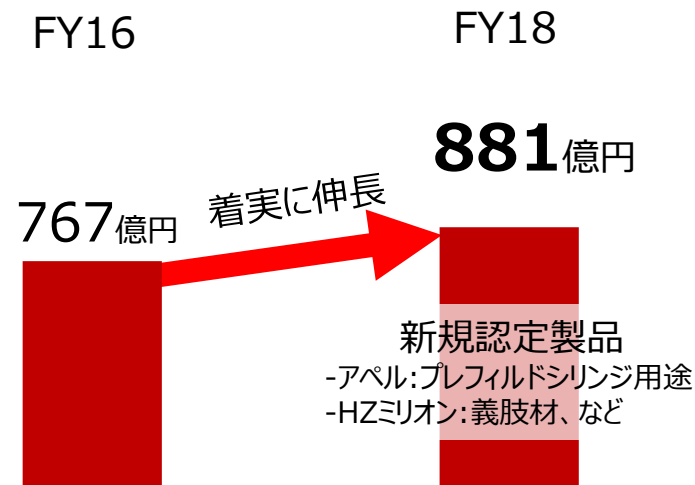
食料問題



CO₂削減に貢献する製品



健康寿命延長に貢献する製品



より実効性の高いコーポレート・ガバナンスを目指して、改革を継続

1997 2000 2005 2010 2015 2017 2018

企業理念

97年～ 企業理念制定

経営と執行の分離

03年～ 執行役員制度導入

取締役総数

30-40名程度

15名程度

10名程度

● 女性取締役就任

社外取締役

1-2名

2-3名に増員

社外監査役

2名

3名に増員

役員報酬
役員人事

05年～ 役員報酬諮問委員会

✓持続的な企業価値向上のインセンティブ → 17年～ 株式報酬制度の導入

✓役員人事の透明性確保 → 17年～ 人事諮問委員会の設置

各種委員会

05年～ CSR委員会

18年～ ESG推進委員会

01年～ リスク管理委員会

07年～ リスク・コンプライアンス委員会

97年～ レスポンシブル・ケア委員会

次世代を担う子どもたちに
化学の楽しさと可能性を伝えたい

ふしぎ探検隊

▶ 社員の自主活動から始まった科学実験教室



継続的な支援活動を

被災地支援

▶ 被災地へ、自社製品を使った必要物資を準備し、いち早く提供。被災地でも現地NPOとふしぎ探検隊行っています。

ひとりひとりの優しい気持ちを「チビット」集めて
みんなの幸せを育てる 社員募金基金

チビットワンコイン活動

▶ 基金は災害支援や社会活動団体等へ寄付。

イメージキャラクター
ちびっと君



- **国内2か所に支援物資倉庫を保有**
岩国大竹工場（山口県）と茂原分工場（千葉県）の2拠点に倉庫を設置。
- **自社製品を使用した支援物資**
ウレタンマットレス、ブルーシート、エア座布団など。



熊本地震での避難所の様子
(2016年4月)



NPOにより避難所に届けられた
ウレタンマットレス
(2018年7月西日本豪雨災害)

3軸経営(トリプルボトムライン)の取り組みが評価され、 ESG投資のための代表的な株式指数に選定



FTSE4Good

FTSE4Good
(フィッチ・フォー・グッド)
FTSE社の社会的責任
投資インデックス



FTSE Blossom
Japan

**FTSE Blossom
Japan Index**



Member of SNAM
Sustainability Index
2018

SNAM
サステナビリティ
インデックス

MSCI 

2018 Constituent
MSCI ジャパンESG
セレクト・リーダーズ指数

MSCI 

2018 Constituent
MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

MEMBER OF
**Dow Jones
Sustainability Indices**
In Collaboration with RobecoSAM 

新たな顧客価値を創造し
事業活動を通じて
社会課題を解決する

Challenge Diversity One Team



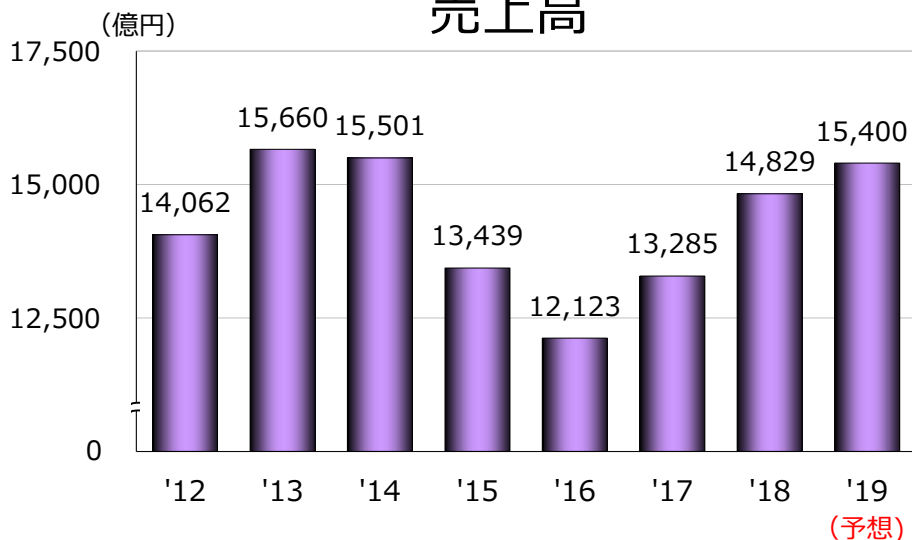
ご清聴ありがとうございました

本資料の計画は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した計画であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。



参考資料

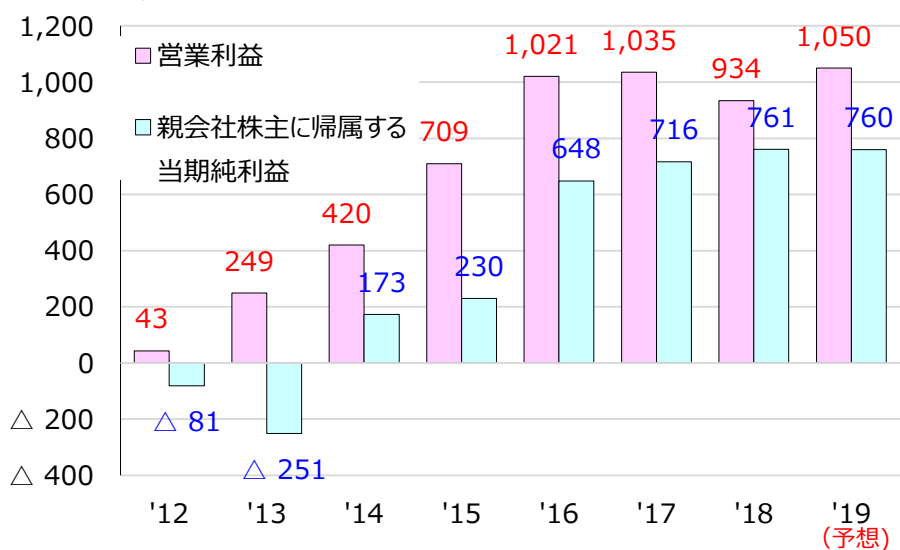
売上高



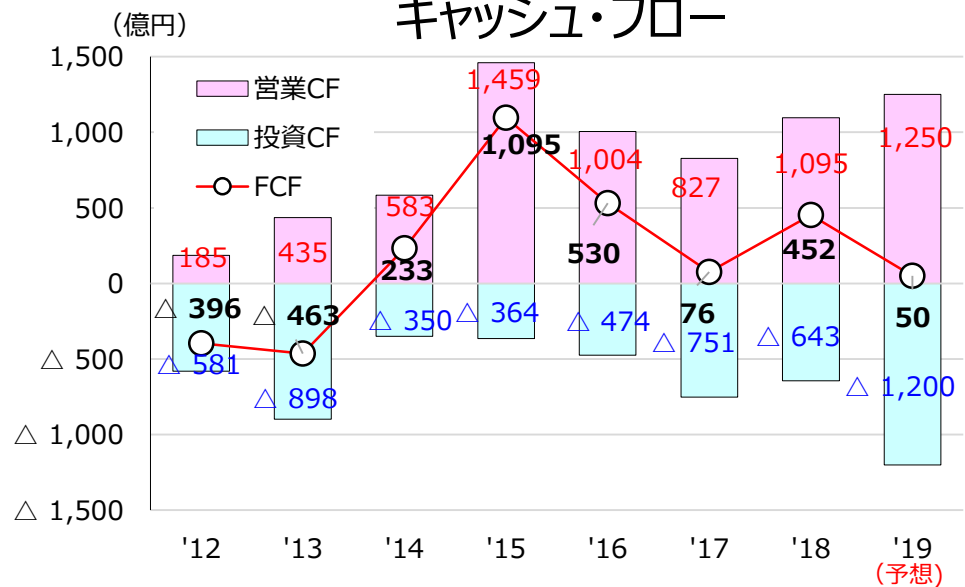
総資産



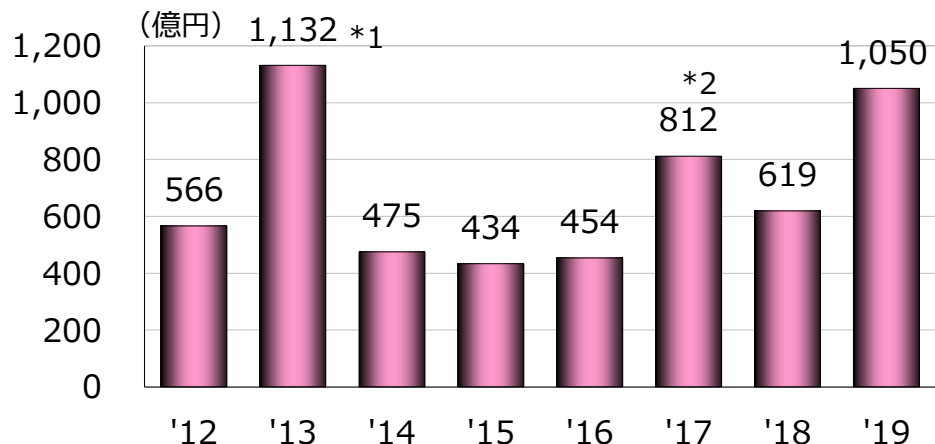
営業利益・親会社株主に帰属する当期純利益



キャッシュ・フロー



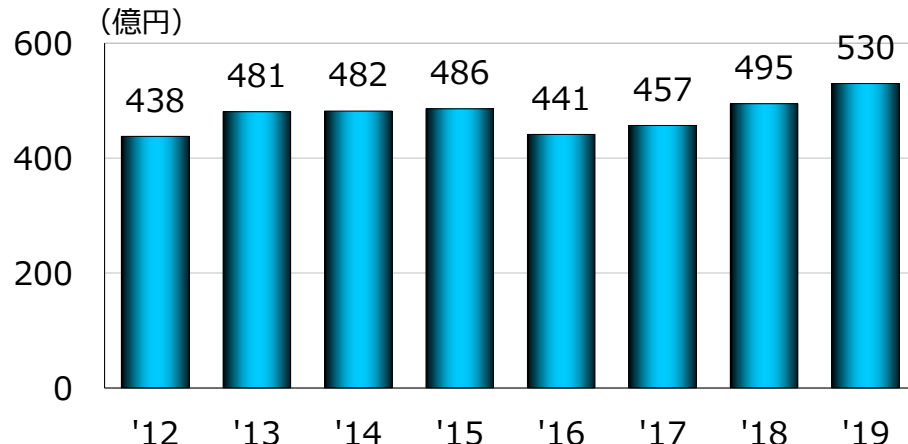
設備投資額



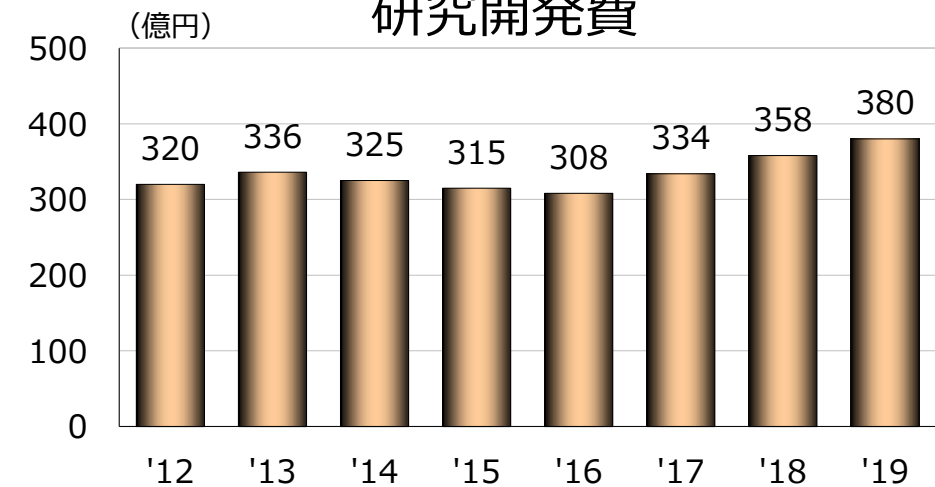
*1. ヘルス社歯科材料事業買収影響 (560億円) を含む

*2. アーク社株式取得影響(239億円)を含む

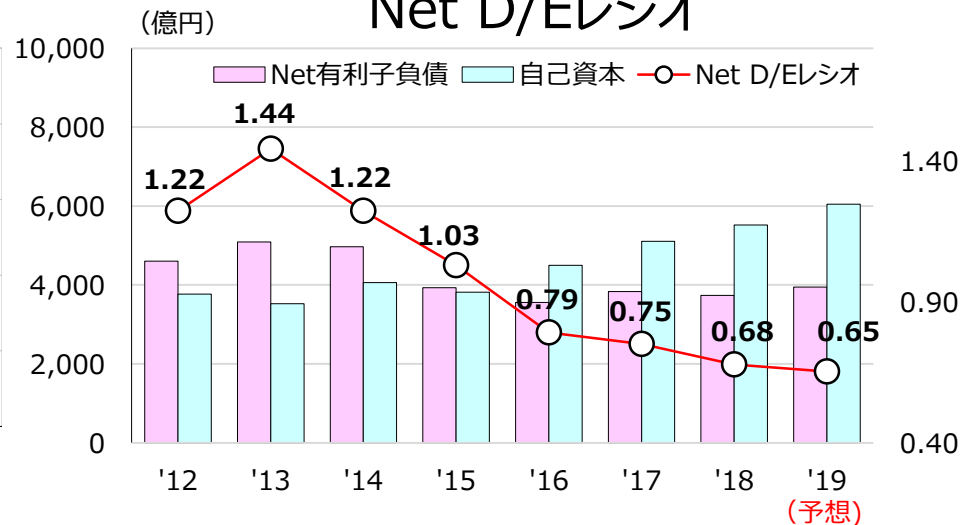
減価償却費



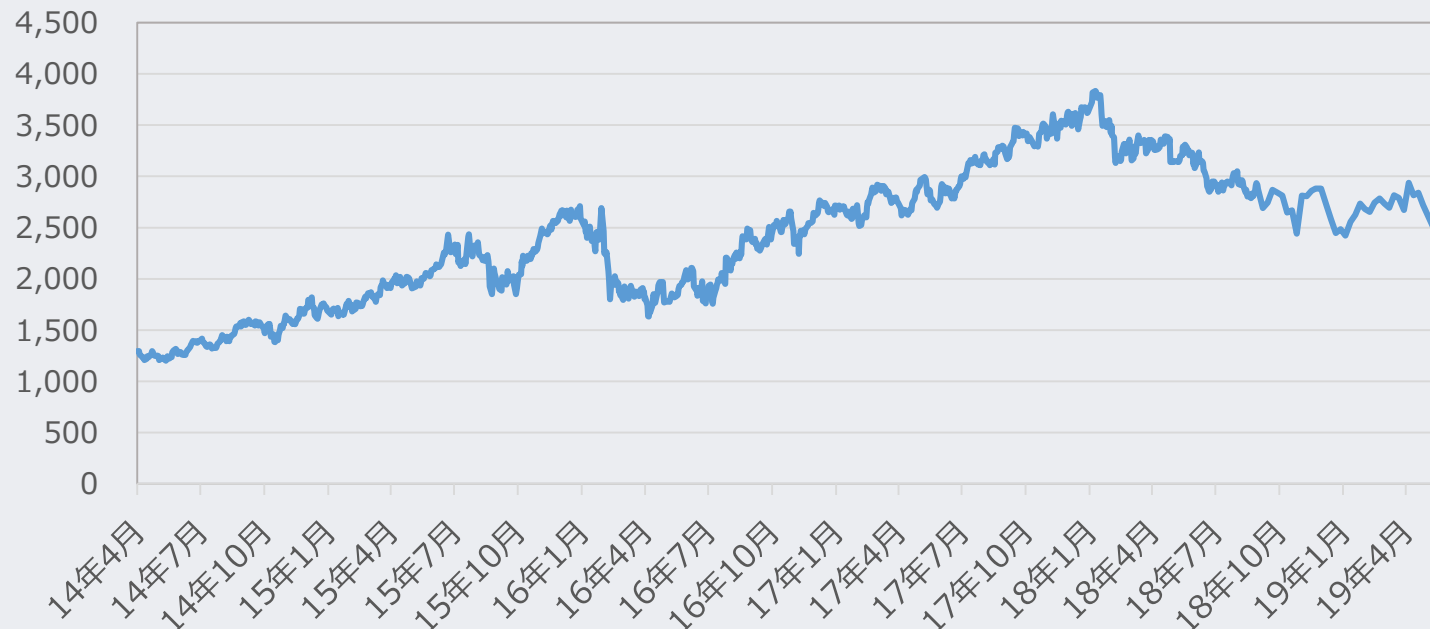
研究開発費



Net D/Eレシオ



株価の推移(*) (単位：円)



▶ 発行済株式総数	204,454,615 株	
▶ 単元株式数	100株	
▶ 上場証券取引所	東京、第一部 (証券コード：4183)	
▶ 連結従業員数	17,743人	2019年3月末現在
▶ 1株当り当期純利益 (EPS)	385.60(*)	2019年3月末現在
▶ 1株当り純資産 (BPS)	1,944.02円(*)	2019年3月末現在

*当社は2017年10月1日付で普通株式5株を1株とする株式併合を行っており、株価、2017年3月末の1株当り当期純利益、及び1株当り純資産は、遡って当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

個人投資家の皆様へ



トップメッセージ

株主・投資家の皆様へ社長よりメッセージをお送りいたします。

2018年12月3日 更新

株主の皆様へ

株主の皆様向けの冊子及び配当情報をご覧くださいませ。

- 株主の皆様へ >
- 配当情報 >

2018年12月3日 更新

最新の説明会資料

経営概況説明会の動画や、決算説明会音声と資料とともに視聴いただけます。

2019年5月24日 更新

財務データハイライト

四半期ごとの業績推移や資産状況などの財務データをグラフでご紹介しています。

2019年5月17日 更新

投資家情報	
トップメッセージ	>
個人投資家の皆様へ	>
企業理念・将来像	📄
IRニュース一覧	>
IRライブラリ	+
最新の説明会資料	>
財務データハイライト	+
株式情報	>
配当情報	>
電子公告	>
本日の株価	📄
よくあるご質問	>
ディスクロージャーポリシー	>
免責事項	>

(QRコード)

QRコード



<https://www.mitsuichem.com/jp/ir/individual/>

三井化学 投資家情報

検索

